令和８年８月２８日
北九州市港湾空港局

報道機関各位

【全国２９港に選定】
北九州港が国のサーキュラーエコノミーポートに選定！
～リサイクルポートからサーキュラーエコノミーポートに深化～

北九州港が、このたび、国土交通省の「循環経済拠点港湾（サーキュラーエコノミーポート）」に全国２９港の一つとして選定されました。

「サーキュラーエコノミーポート」は、循環経済（サーキュラーエコノミー）の実現に向け、循環資源に関する物流ネットワークの拠点形成や、高度なリサイクル技術を有する産業の集積などに取り組む港湾を国が選定するものです。

今回の選定を契機に、北九州港の強みをさらに活かし、循環資源が集まり、新たな資源を活用する拠点の形成を進めることで、北九州港を核としたサーキュラーエコノミーのさらなる推進につなげていきます。

１　北九州港のサーキュラーエコノミーポートとしての特徴

（１）循環資源取扱量２００万トン超の実績

循環資源の取扱量が近年２００万トンを超え、令和７年にはリサイクルポート指定時（平成１４年）の約４倍に増加し、循環資源の物流拠点としての役割を拡大しています。

（２）多様な循環資源の輸送に対応する充実した港湾機能

バルク貨物を取り扱う埠頭やコンテナ・フェリーターミナルに加え、多様な産業廃棄物に対応した公共岸壁を備えており、様々な循環資源の円滑な輸送に対応できます。

（３）循環資源の受け皿となる製造業・リサイクル産業の集積

市内には循環資源の受け皿となり得る製造業やリサイクル産業が集積しています。また、今後、鉄鋼メーカーの電炉転換などにより、循環資源のさらなる活用が期待されます。

２　今後の目指す姿

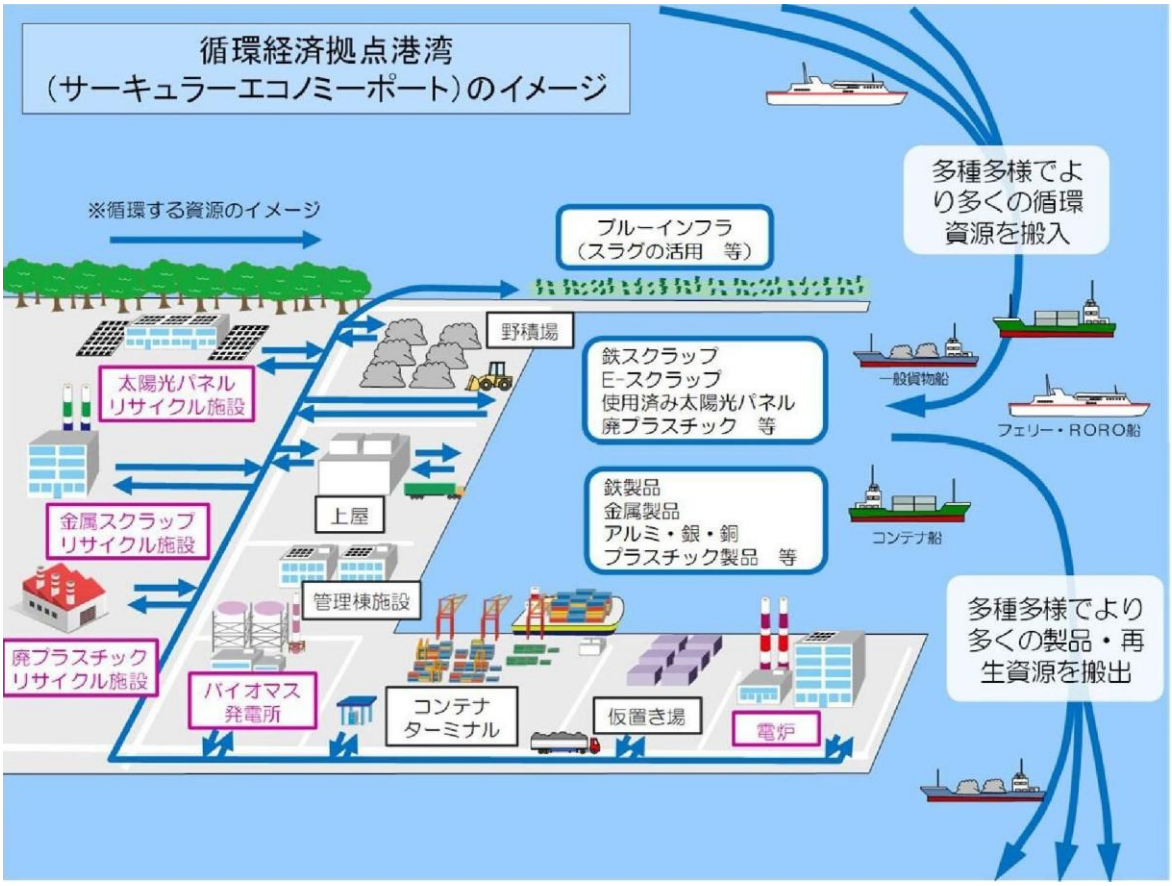
北九州港は、サーキュラーエコノミーを巡る様々な社会的要請に対応し、港湾を核とする物流システムの構築等により、サーキュラーエコノミーの推進に貢献していきます。

３　選定によるメリット

国土交通省による保管施設の整備支援に加え、環境省による港湾での循環資源の荷役設備等の整備支援が予定されています。今回の選定により、今後、施設整備が必要になった場合には、国からの支援制度を活用できることが見込まれます。

＜問い合わせ先＞
港湾空港局 計画課
担当：（課長）山脇、（係長）黒田
電話：093-321-5967

【参考】



※サーキュラーエコノミーポートとは

　サーキュラーエコノミーポートは、循環資源の流動・種類の増大、小口の循環資源の輸送ニーズへの対応、周辺環境や他の貨物への影響を防止するための対策など、サーキュラーエコノミーを巡る様々な社会的要請に取り組む港湾であり、港湾管理者、リサイクル関連企業、物流事業者、関係省庁など、多様な主体と共に連携しながら、サーキュラーエコノミーの実現を目指すものです。

（資料：国土交通省港湾局海洋・環境課資料より抜粋）